

事務局 〒028-3309紫波町日詰駅前1-10-2赤石公民館内 tel 019-676-3999 会長 高橋敬明 tel 090-3125-3776

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪-もう一つの平泉-』パンフレット14頁 —

3 比爪—奥州藤原氏第二の拠点— ③ 外縁遺跡

◀ 新山経塚(紫波町土館字和山)(1) ▶

新山神社奥宮は、新山の山頂（標高551m）の直下の標高517mの尾根の端部に位置します。現在は神社ですが、近世には「新山権現」として祀られていました。「権現」とは、「仏が仮に神の形を取って現れた」という意味であり、本地垂迹説に基づく考え方です。よって、「新山権現」は「新山の神の姿で現れた仏」という意味合いになります。古代末～中世の寺院では、土地の神を祀る「鎮守社」が寺域の中に所在する事例が多く、この土館字和山の「新山権現」は、「新山寺」の鎮守社としての位置付けが妥当と考えられます。「新山寺」が盛岡に移転した後も、土地の守りの神である鎮守社「新山権現」は、元来の鎮守地に残されたと解釈されます。

「新山」という地名、言葉の意味ですが、遠方の山岳の鎮守を、遷拜のために近場の山に勧請したものと考えられています。この土館の「新山」が、どこの山岳の鎮守を勧請したものか明確ではありません。

《《《 12～1月行事予定のお知らせ 》》》

<p>12月10日 (日曜日)</p>	<p>第19回 定期講演会</p>	<p>時刻/午後2時から午後4時まで (受付開始時刻:午後1時30分) 会場/JR日詰駅前 紫波町赤石公民館 講師/岩手大学人文社会科学部 教授 樋口知志氏 演題/未定(奥州藤原氏樋爪一族関係) 参加料/一人500円(会員200円)当日受付へ 参加申込/11月30日までにFAXで赤石公民館 019-676-3999へ送信 お問合せ/090-3125-3776(高橋)</p>
<p>1月17日 (水曜日)</p>	<p>第88回 月例発表会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 赤石公民館 ① 発表者: 金濱興一 テーマ: ひづめ4 ② 発表者: (未定) テーマ: (未定)</p>

11月8日に南日詰大銀Ⅱ遺跡第3次発掘調査現地説明会が開催されました。

大勢の参加者から質問もあり、関心の高さが感じられ調査報告書の発行が期待されるようです。



☀ ☀ ☀ 比爪館跡の発掘調査 No.45 ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ ☀

比爪館 第31次・第32発掘調査報告書<学校法人紫波学園・紫波町教育委員会(平成27年3月発行)>

【第32次発掘調査】

2 調査の概要 (2) 調査に至る経過 (7頁)

学校法人紫波学園の実施する保育所施設及び駐車場建設工事に伴い、その事業区域に比爪館遺跡が存在することから発掘調査を実施することとなったものである。

学校法人紫波学園から平成25年8月26日付で文化財保護法第93条第1項に基づく埋蔵文化財発掘届出の提出があり、平成25年8月28日付で岩手県教育委員会から工事着手前の試掘調査の通知があった。その後、学校法人紫波学園の依頼を受けて平成25年9月24日に試掘調査を実施した。調査の結果遺構等が確認されたため、紫波町教育委員会は学校法人紫波学園と協議を行い、同日付で記録保存調査に着手した。

4 第32次調査の概要 (20頁)

[位置]

学校法人紫波学園赤石幼稚園の南東約100mの地点で、南北25m、東西22mの範囲を調査した。

[検出遺構]

遺構検出面は褐色シルト層上面で実施した。

竪穴住居跡 1棟

井戸跡 4基

溝跡 7条

土坑跡10基

陥し穴状遺構 1基

柱穴44口

[出土遺物]

かわらけ

あかやき土器坏・甕

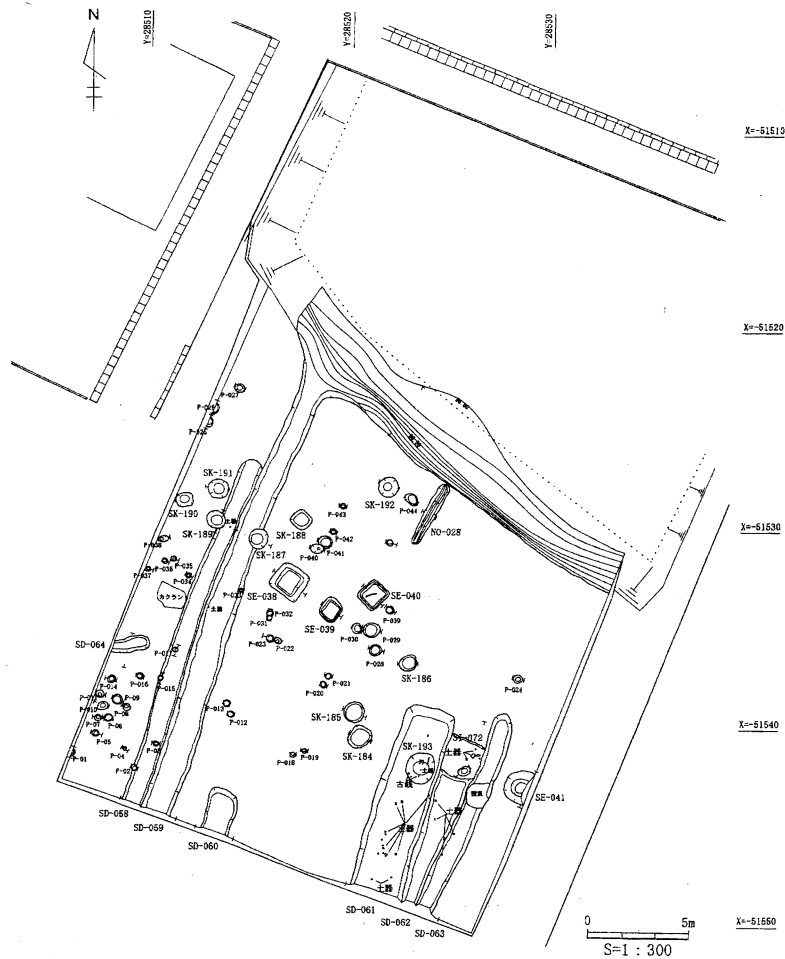
国産陶器

中国産陶磁器

鉄製品

木製品

古銭その他



第12図 第32次調査区 全体図 (1:300)

出前講座のお知らせ

当会では、会員がボランティアで出前講座を行っています。地域の子供会や老人クラブなど各種団体等の集まりの際に、「樋爪館跡」についての話しをお聞きになりたいときは下記に申し込んでください。ご希望の時間内で参加者の年代層に合せた内容にしますので早めの連絡をお願いします。

090-3125-3776 (高橋)